



南条っ子

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

南条小学校だより

令和5年10月4日発

第30号



保健委員会の発表

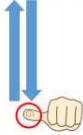
10月10日が目の愛護デーということもあり、10月の1ヶ月間を目を守る月間として、目の健康に対する意識を高めるために、いろいろな活動に取り組みます。その1つとして、10月2日(月)の全校集会で、保健委員会による発表がありました。視力が低下すると、いろいろと不便な生活になりますので、部屋の明るさや見る物との距離、姿勢など、気を付けて生活していきましょう。また、学校で毎朝行っている「ビジョントレーニング」を、ご家庭でも取り組んでください。



目の体操(ビジョントレーニング)

- ・手(親指)を出し指先を見る
- ・顔は動かさない
- ・目の筋肉をのぼすように動かす

- ① 上→下 (ゆっくり2回)
- ② 右→左 (ゆっくり2回)
- ③ 右回り (ゆっくり1回)
- ④ 左回り (ゆっくり1回)



図書館見学(2年生)

10月4日(水)、2年生が南条図書館の見学に行き、館内の様子を調べたり、司書の方にたくさん質問したりしてきました。4万3千冊の本があることや、1年間に700冊、新しい本を買っていることなどが分かりました。



【読書のすすめ】

「あなたは読書が好きですか?」という質問をされたらどう答えるでしょうか? ひよっとすると「読書が嫌い」と答える人の中には、「読まず嫌い」の人がいるのかもしれませんが。本が分厚いから読むのに時間がかかる、文字が小さくてたくさんあるから読みにくい、漫画じゃないから読むのが大変だと思って、はじめから本を手にとらないような人のことです。本当は楽しかったり、反対に感動して泣けてしまったりするような、ちょっとでも読み始めるとやめられなくなってしまうような本がたくさんあります。

「読書は、頭と心の栄養」です。本を読むことによって、いろいろな知識を身に付けて物知りになり、心も成長します。楽しい本を読んだり、うれしい本を読んだりすると、楽しさやうれしさを味わうことができます。逆に、悲しい本を読むと、悲しみが分かるようになります。そして、心温まる内容の本を読むと、何だかとても優しく癒やされた気持ちになります。このように、いろいろな本に出会うことによって、いろいろな心や気持ちの体験をして、喜びや悲しみ、優しさなどが分かる人になれるのではないかと思います。

女優の芦田愛菜さんは、過去(4年前)のインタビューで、「3、4歳ころから両親からの読み聞かせも含めて本と触れ合ってきました。小学生の低学年の時は児童書や絵本も読んでいて、それらも含めると、今までにトータル1000冊以上は読んでいると思います。漫画はあんまり読まなくて、小説を手にする機会が多いです。それは、自分で自由に想像してその世界を作っていくということが、本の魅力であり、好きだと感じているからです。」また、「小さいころから両親が図書館から借りて来て、本は身近な存在でした。本を読むことは、歯みがきやお風呂に入ることと同じくらい当たり前の日常なのです。」と答えています。

できれば、彼女のように、本を読むことが大好きな人になってほしいと思います。

【校長より】

南条図書館の入り口近くにある掲示板に、右のような掲示物がありました。ポッチャで活躍しているパラリンピック選手杉村英孝さんに関するニュースです。その中で、「失敗した時こそ上達するチャンスがあると常に考えています。その失敗を乗り越えるために練習を積み重ねることで、夢に向かうことができていると思っています。」とありました。日々努力している姿が目に見えそうです。

今、3年生が町民文化祭(10/28土)の発表に向けて、私の想像を超えた難しい出し物の練習をしています。みんなの気持ちを1つにして練習を積み重ねることで、本番では、会場みなさんに良い夢を見させてください。心から応援しています。

